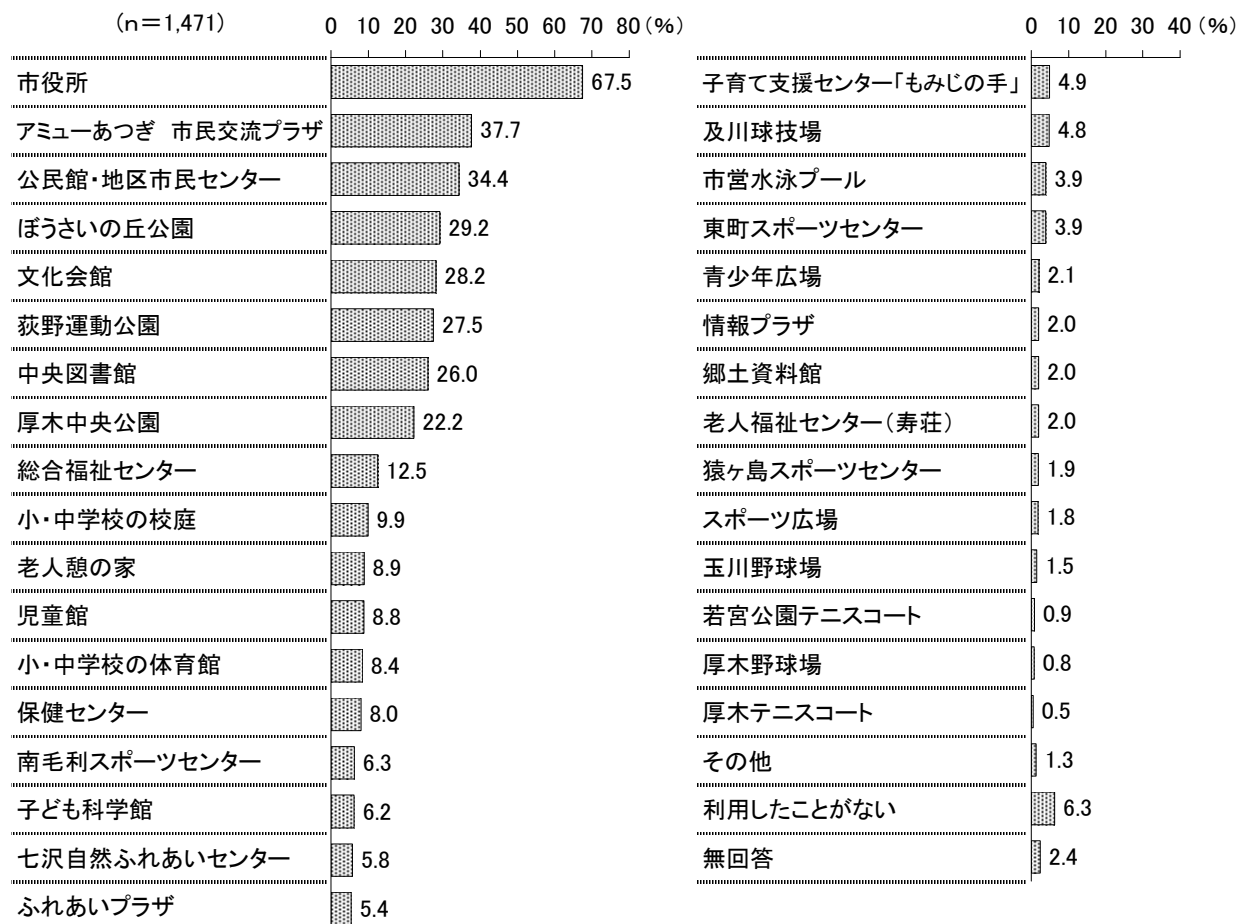


11 市民生活

(1) 市の施設の利用状況 (A:問28)

問. この1年に、利用された「市の施設」をお答えください。(いくつでも選んでください)

図11-1-1 市の施設の利用状況



【全体】

この1年の市の施設の利用状況について聞いたところ、「市役所」(67.5%)が7割近くで最も高く、次いで「アミュあつぎ 市民交流プラザ」(37.7%)、「公民館・地区市民センター」(34.4%)、「ぼうさいの丘公園」(29.2%)、「文化会館」(28.2%)となっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、「公民館・地区市民センター」（34.4％）は前回調査（22.4％・第6位）より12.0ポイント増加し、「市役所」（67.5％）は前回調査（62.8％）より4.7ポイント増加している。

表11-1-1 市の施設の利用状況—経年変化（上位5項目と「利用したことがない」）

(%)

順位	平成27年度 (n=1,471)		平成25年度 (n=1,270)		平成23年度 (n=814)		平成21年度 (n=1,610)		平成19年度 (n=1,500)		平成17年度 (n=1,008)	
1	市役所	67.5	市役所	62.8	ぼうさいの丘公園	33.5	中央図書館	31.4	荻野運動公園	36.9	中央図書館	28.4
2	アミューあつぎ 市民交流プラザ	37.7	中央図書館	29.1	中央図書館	29.2	文化会館	31.1	中央図書館	34.2	荻野運動公園	28.1
3	公民館・地区市民センター	34.4	ぼうさいの丘公園	26.8	文化会館	26.8	ぼうさいの丘公園	30.7	文化会館	33.3	文化会館	27.8
4	ぼうさいの丘公園	29.2	荻野運動公園	25.7	荻野運動公園	26.3	荻野運動公園	25.7	ぼうさいの丘公園	28.1	総合福祉センター	17.1
5	文化会館	28.2	文化会館	25.6	厚木中央公園	24.0	市立公民館・地区市民センター	22.4	厚木中央公園	24.1	市立公民館・地区市民センター	17.0
	利用したことがない	6.3	利用したことがない	7.6	利用したことがない	15.6	利用したことがない	16.6	利用したことがない	12.7	利用したことがない	21.3

（注1）平成27年度調査では、「アミューあつぎ 市民交流プラザ」を追加している。

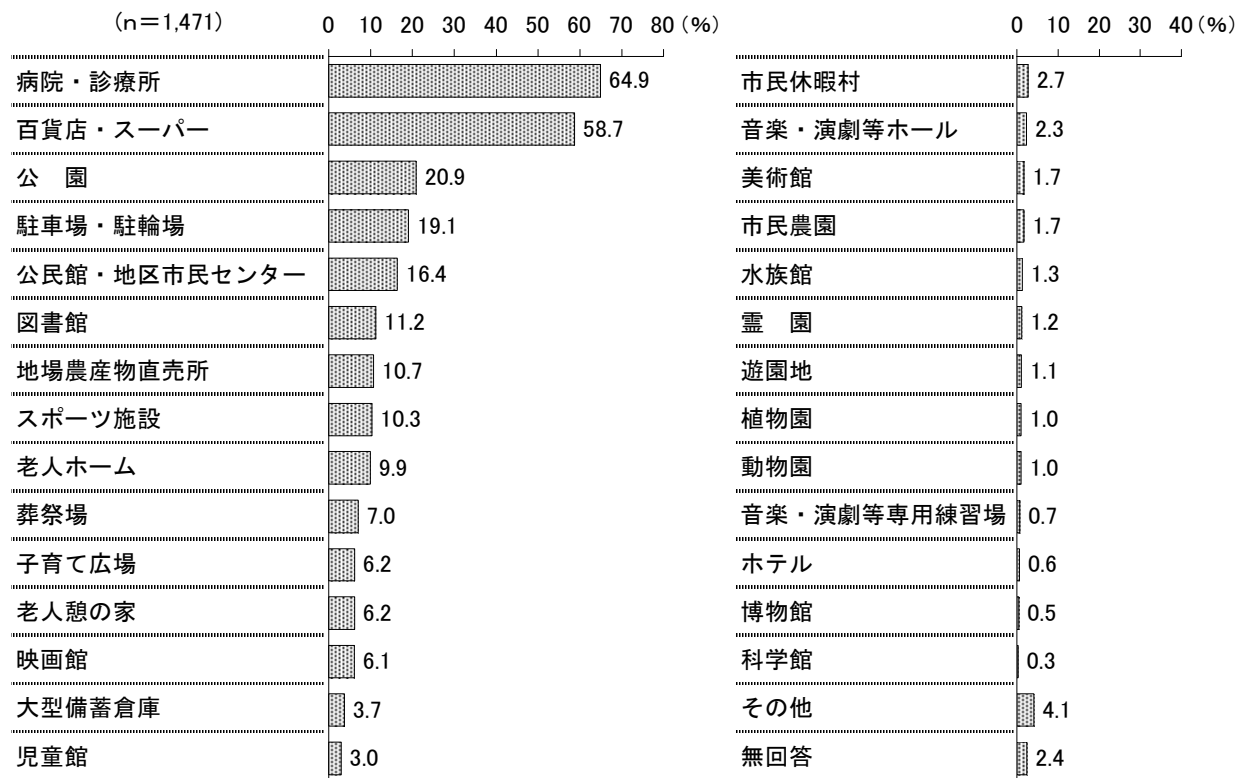
（注2）平成25年度調査以降、「市役所」を追加している。

（注3）平成17年度調査は選択肢内容が異なるため、参考に掲載する。

(2) 整備が必要な施設 (A: 問27)

問. 生活をする上で、特に必要な施設は何だと思いますか。(3つまで選んでください)

図11-2-1 整備が必要な施設



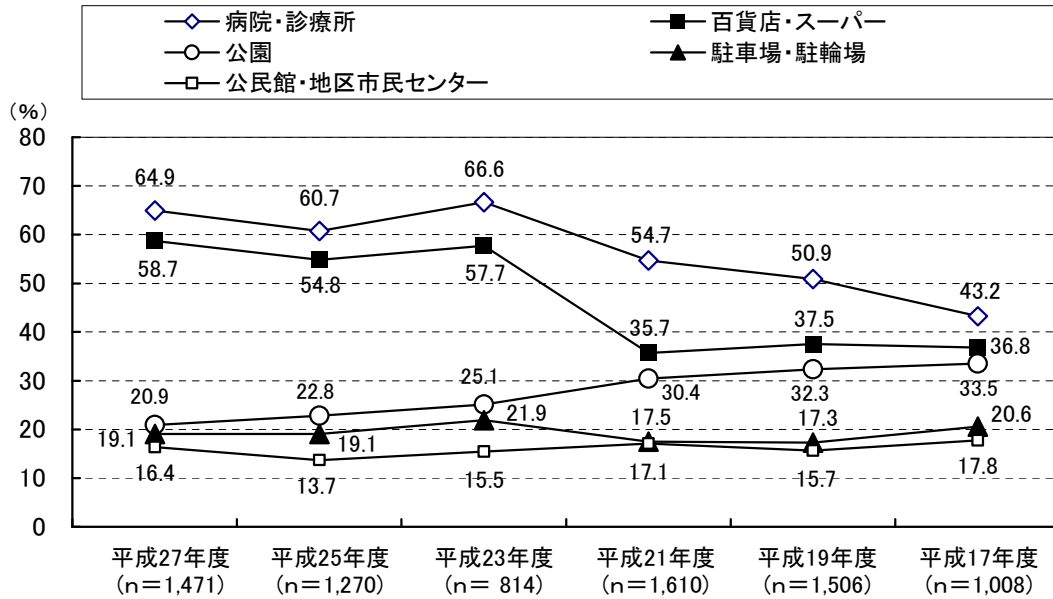
【全体】

整備が必要な施設について聞いたところ、「病院・診療所」(64.9%)が6割半ばで最も高く、次いで「百貨店・スーパー」(58.7%)、「公園」(20.9%)、「駐車場・駐輪場」(19.1%)、「公民館・地区市民センター」(16.4%)となっている。

【経年変化】(グラフは次ページにあり)

経年による変化を見ると、「病院・診療所」(64.9%)は前回調査(60.7%)より4.2ポイント増加し、「百貨店・スーパー」(58.7%)は前回調査(54.8%)より3.9ポイント増加している。

図11-2-2 整備が必要な施設一経年変化（上位5項目）



【属性別】

性別で見ると、男女ともに「病院・診療所」が第1位、「百貨店・スーパー」が第2位、「公園」が第3位となっている。

年齢別で見ると、59歳以下の年代では「百貨店・スーパー」が第1位、「病院・診療所」が第2位となっており、60歳以上の年代では「病院・診療所」が第1位、「百貨店・スーパー」が第2位となっている。

表11-2-1 整備が必要な施設一性別、年齢別（上位3項目）

順位	男性 (n=649)		女性 (n=804)	
	施設	(%)	施設	(%)
1	病院・診療所	62.6	病院・診療所	67.0
2	百貨店・スーパー	55.5	百貨店・スーパー	61.6
3	公園	23.0	公園	19.3

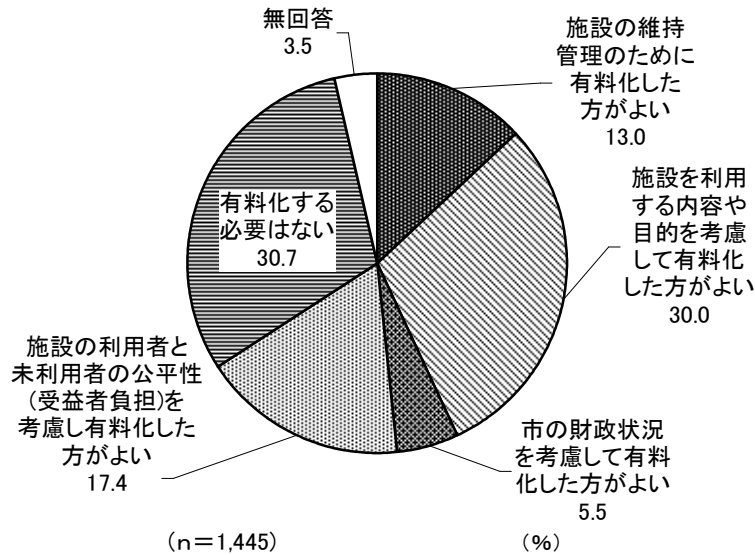
順位	20歳未満 (n=7)		20~29歳 (n=90)		30~39歳 (n=195)		40~49歳 (n=228)	
	施設	(%)	施設	(%)	施設	(%)	施設	(%)
1	百貨店・スーパー	57.1	百貨店・スーパー	58.9	百貨店・スーパー	66.7	百貨店・スーパー	66.2
2	病院・診療所	42.9	病院・診療所	53.3	病院・診療所	64.1	病院・診療所	63.2
3	映画館	28.6	公園	27.8	公園	39.5	駐車場・駐輪場	29.4

順位	50~59歳 (n=223)		60~69歳 (n=323)		70~79歳 (n=286)		80歳以上 (n=110)	
	施設	(%)	施設	(%)	施設	(%)	施設	(%)
1	百貨店・スーパー	71.3	病院・診療所	63.8	病院・診療所	68.2	病院・診療所	62.7
2	病院・診療所	70.9	百貨店・スーパー	57.6	百貨店・スーパー	45.8	百貨店・スーパー	40.0
3	駐車場・駐輪場	22.4	公園	18.9	公民館・地区市民センター	26.6	公民館・地区市民センター	29.1

(3) 市の施設の利用の有料化について (B:問23)

問. 厚木市の公民館など、現在使用料が無料の施設を有料化することについてどう思いますか。
(1つだけ選んでください)

図11-3-1 市の施設の利用の有料化について



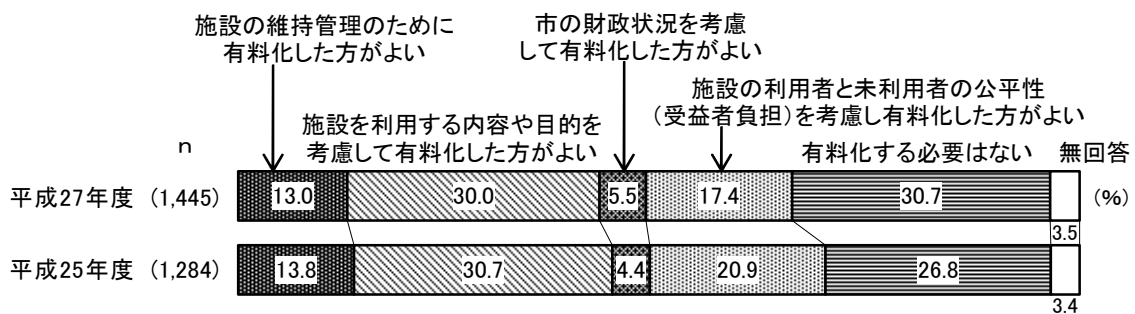
【全体】

市の施設の利用の有料化についてどう思うか聞いたところ、「有料化する必要はない」(30.7%)が約3割で最も高く、次いで「施設を利用する内容や目的を考慮して有料化した方がよい」(30.0%)、「施設の利用者と未利用者の公平性(受益者負担)を考慮し有料化した方がよい」(17.4%)、「施設の維持管理のために有料化した方がよい」(13.0%)となっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、「有料化する必要はない」(30.7%)は前回調査(26.8%)より3.9ポイント増加している。一方、「施設の利用者と未利用者の公平性(受益者負担)を考慮し有料化した方がよい」(17.4%)は前回調査(20.9%)より3.5ポイント減少している。

図11-3-2 市の施設の利用の有料化について—経年変化

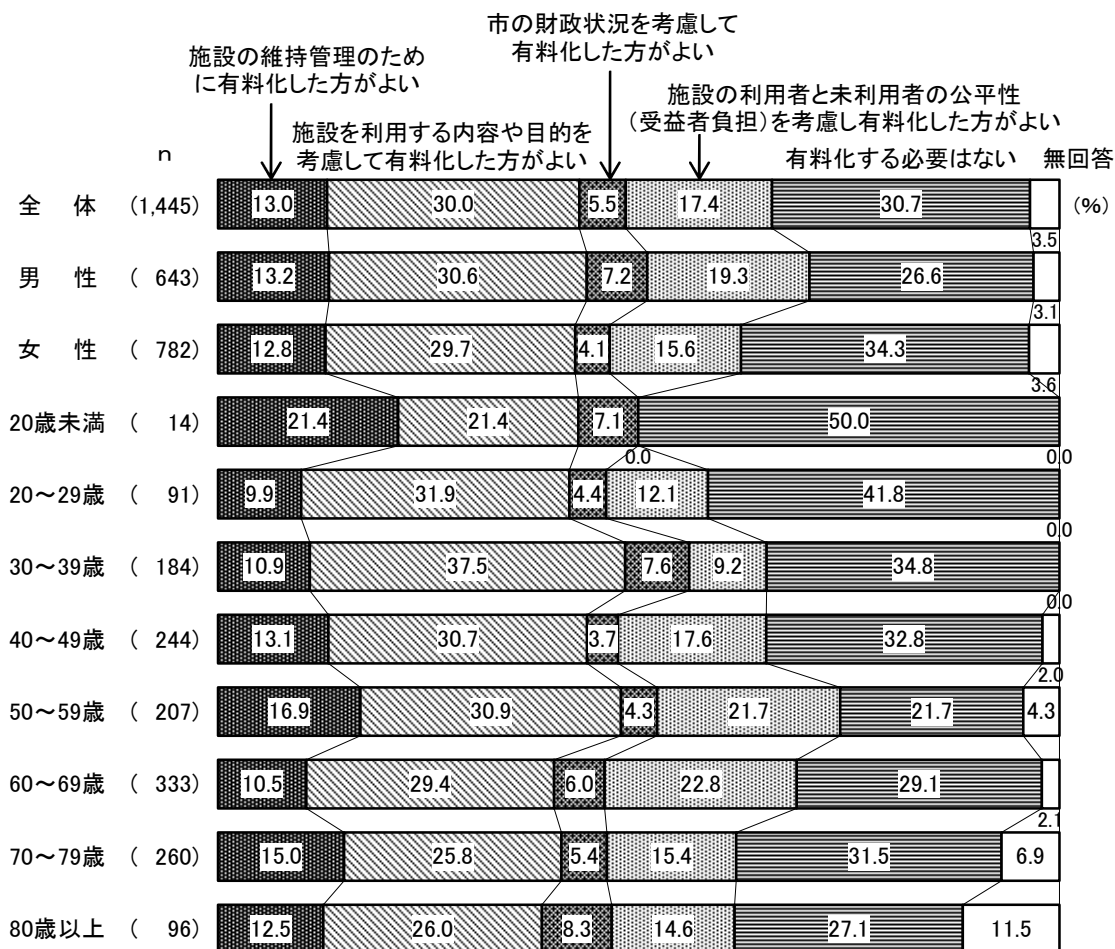


【属性別】

性別で見ると、女性では「有料化する必要はない」(34.3%)が男性(26.6%)より7.7ポイント高くなっている。一方、男性では「施設の利用者と未利用者の公平性(受益者負担)を考慮し有料化した方がよい」(19.3%)が女性(15.6%)より3.7ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、20～29歳では「有料化する必要はない」(41.8%)が4割を超えて高くなっている。30～39歳では「施設を利用する内容や目的を考慮して有料化した方がよい」(37.5%)が4割近くと高くなっている。50歳から69歳では「施設の利用者と未利用者の公平性(受益者負担)を考慮し有料化した方がよい」が2割を超えて高くなっている。

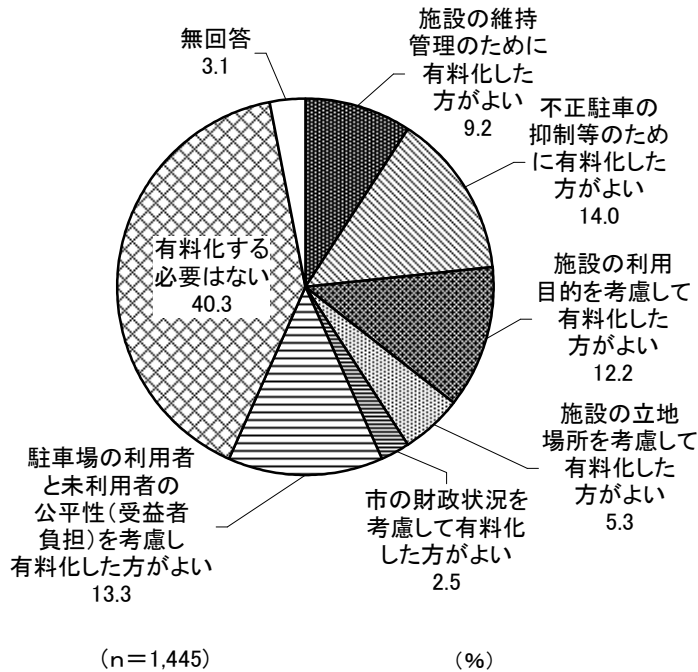
図11-3-3 市の施設の利用の有料化について一性別、年齢別



(4) 公共施設の駐車場の有料化について (B:問24)

問. 現在無料である公共施設の駐車場を有料化することについてどう思いますか。
(1つだけ選んでください)

図11-4-1 公共施設の駐車場の有料化について



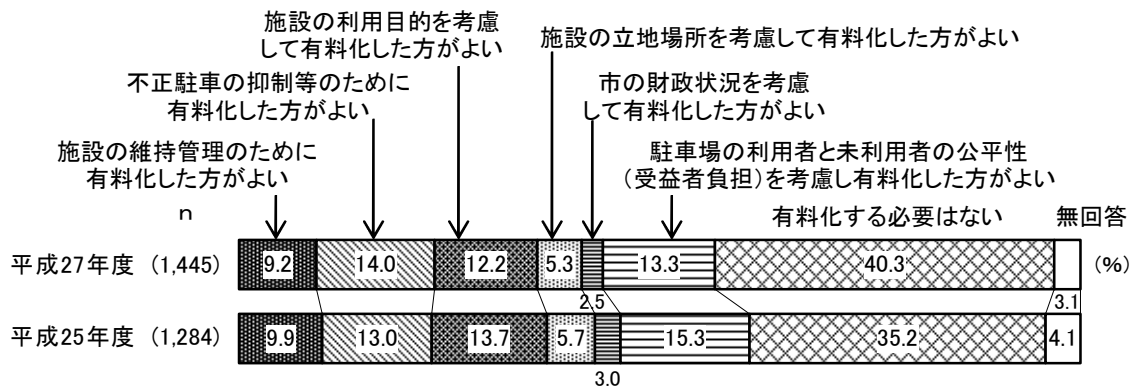
【全体】

公共施設の駐車場の有料化についてどう思うか聞いたところ、「有料化する必要はない」(40.3%)が約4割で最も高く、次いで「不正駐車抑制等のために有料化した方がよい」(14.0%)、「駐車場の利用者と未利用者の公平性(受益者負担)を考慮し有料化した方がよい」(13.3%)、「施設の利用目的を考慮して有料化した方がよい」(12.2%)となっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、「有料化する必要はない」(40.3%)は前回調査(35.2%)より5.1ポイント増加している。

図11-4-2 公共施設の駐車場の有料化について—経年変化

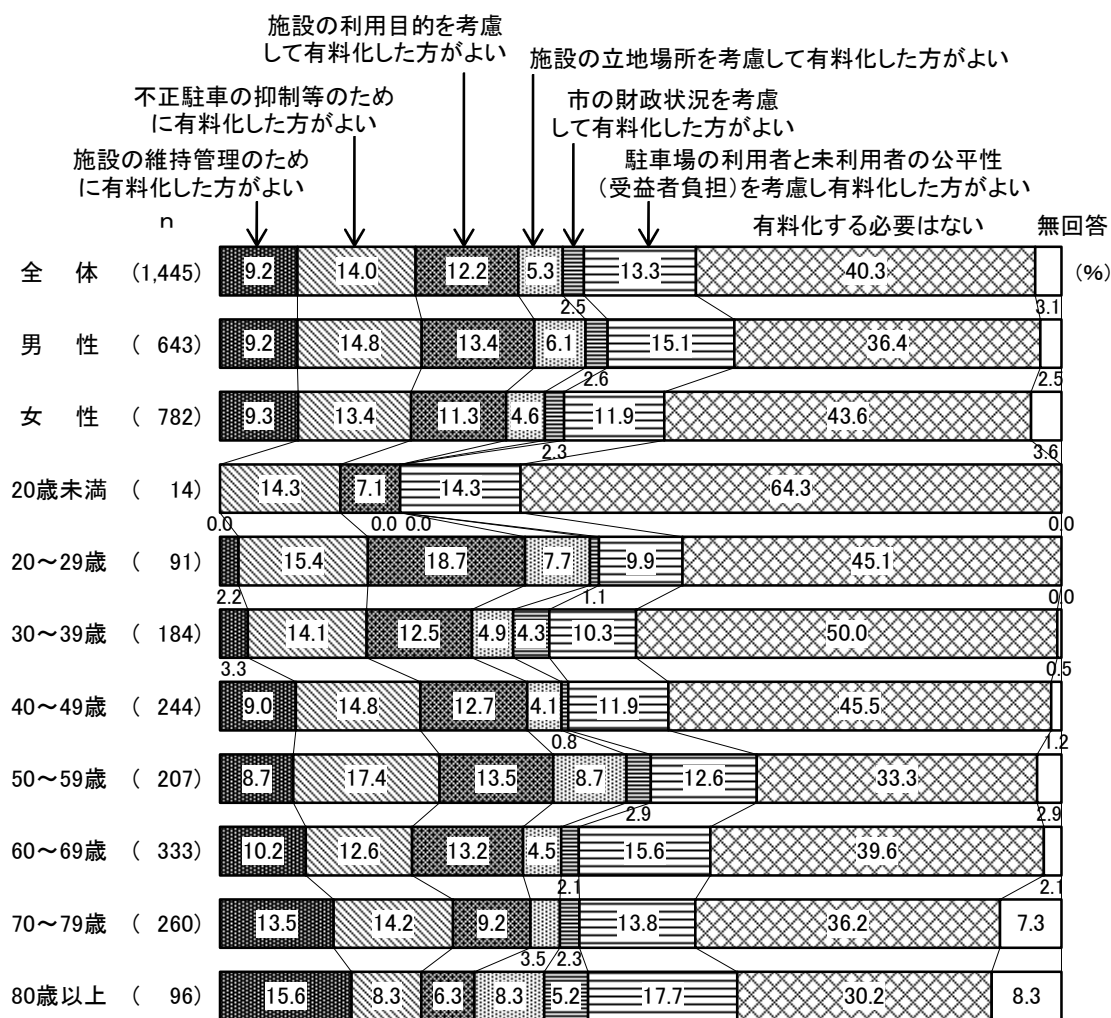


【属性別】

性別で見ると、女性では「有料化する必要はない」(43.6%)が男性(36.4%)より7.2ポイント高くなっている。一方、男性では「駐車場の利用者と未利用者の公平性(受益者負担)を考慮し有料化した方がよい」(15.1%)が女性(11.9%)より3.2ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、30～39歳では「有料化する必要はない」(50.0%)が5割と高くなっている。80歳以上では「駐車場の利用者と未利用者の公平性(受益者負担)を考慮し有料化した方がよい」(17.7%)が2割近くと高くなっている。20～29歳では「施設の利用目的を考慮して有料化した方がよい」(18.7%)が2割近くと高くなっている。

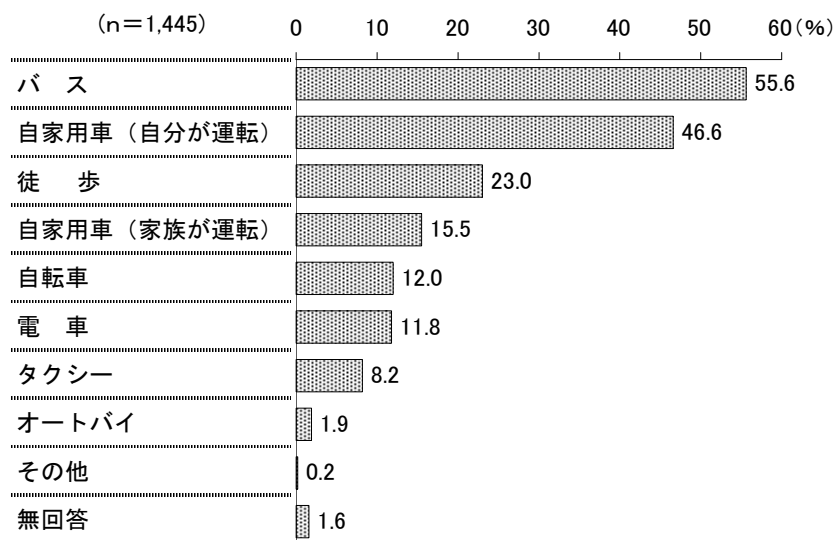
図11-4-3 公共施設の駐車場の有料化について一性別、年齢別



(5) 高齢時の交通手段 (B:問28)

問. あなたは将来 (65歳以降)、主にどのような交通手段を利用すると思いますか。(65歳以上の方は、現在どのような交通手段を主に利用していますか。)(2つまで選んでください)

図11-5-1 高齢時の交通手段



【全体】

高齢時の交通手段について聞いたところ、「バス」(55.6%)が5割半ばで最も高く、次いで「自家用車 (自分が運転)」(46.6%)、「徒歩」(23.0%)、「自家用車 (家族が運転)」(15.5%)、「自転車」(12.0%)、「電車」(11.8%)となっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、「バス」の利用は変わらず5割を超えて高い。「自家用車 (自分が運転)」(46.6%)は前回調査 (38.7%)より7.9ポイント増加している。一方、「タクシー」(8.2%)は前回調査 (11.8%)より3.6ポイント減少し、「電車」(11.8%)は前回調査 (14.8%)より3.0ポイント減少している。また、「自家用車 (家族が運転)」(15.5%)は平成21年度調査 (20.4%)以降減少傾向にある。

表11-5-1 高齢時の交通手段-経年変化

調査年	n	割合 (%)									
		バス	(自家用車が運転)	徒歩	(自家用車が運転)	自転車	電車	タクシー	オートバイ	その他	無回答
平成27年度	1,445	55.6	46.6	23.0	15.5	12.0	11.8	8.2	1.9	0.2	1.6
平成25年度	1,284	57.9	38.7	24.9	17.0	11.7	14.8	11.8	1.9	0.4	2.2
平成23年度	814	50.4	43.5	20.6	19.2	11.2	13.6	7.4	1.1	0.5	6.0
平成21年度	1,610	53.5	39.8	20.0	20.4	11.6	13.9	10.6	1.7	0.7	3.5
平成19年度	1,506	56.0	33.1	23.4	19.6	11.2	15.7	13.1	1.7	0.9	2.7

【属性別】

性別で見ると、女性では「自家用車（家族が運転）」（21.0%）が男性（8.9%）より12.1ポイント、「バス」（59.2%）が男性（51.6%）より7.6ポイント高くなっている。一方、男性では「自家用車（自分が運転）」（60.2%）が女性（35.2%）より25.0ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、80歳未満の年代で「バス」は5割を超えて高くなっている。20～29歳では「徒歩」（30.8%）が約3割と高くなっている。80歳以上では「電車」は低いものの、「タクシー」（18.8%）、「自家用車（家族が運転）」（29.2%）が高くなっている。

表11-5-2 高齢時の交通手段—性別、年齢別

			(%)									
		n	バス	自家用車 (自分が運転)	徒歩	自家用車 (家族が運転)	自転車	電車	タクシー	オートバイ	その他	無回答
全 体		1,445	55.6	46.6	23.0	15.5	12.0	11.8	8.2	1.9	0.2	1.6
性別	男 性	643	51.6	60.2	22.2	8.9	14.6	11.4	5.3	2.2	0.2	1.6
	女 性	782	59.2	35.2	24.3	21.0	9.8	12.3	10.6	1.4	0.3	1.4
年 齢 別	20歳未満	14	50.0	28.6	21.4	14.3	21.4	21.4	14.3	7.1	-	-
	20～29歳	91	54.9	48.4	30.8	17.6	5.5	9.9	8.8	1.1	-	1.1
	30～39歳	184	54.9	50.5	23.4	17.4	4.9	10.9	8.7	1.6	1.6	1.6
	40～49歳	244	53.7	48.0	27.9	13.1	12.7	16.0	4.1	2.0	-	-
	50～59歳	207	56.0	50.2	21.3	13.0	10.1	15.5	8.2	2.9	-	1.4
	60～69歳	333	55.6	51.4	22.8	14.1	14.1	9.9	5.7	1.5	-	1.2
	70～79歳	260	60.8	40.4	21.5	15.0	15.4	10.8	10.8	1.2	-	1.9
80歳以上	96	49.0	26.0	15.6	29.2	15.6	5.2	18.8	1.0	-	6.3	